飛騨産業株式会社

代表取締役社長 岡田贊三氏

——昨年を振り返っていかがでしたか。

アベノミクスによる株高効果や来春の消費増税の影響による住宅の駆け込み購入で家具の注文が急増しました。弊社では受注生産のため工場はフル稼働の状態で、昨年9月からの売上高は前期比増が続いている。一方で輸入材は、円安による為替差損が利益を圧迫し、今年からの受注分は平均約6%の価格改定を余儀なくされました。それでも売り上げが伸びているのは、日本人が良い物を長く使うという志向に成熟した結果。伝統の心と技術を大切に受け継ぎ顧客志向のものづくりを追求する「本物家具メーカーを目指す」との会社方針の下、心を込めてモノづくりに励んできたことが実を結んだと思います。

——技術を守るには、人材育成も重要では。

一流の家具職人を育成するため、4月から職人学校を立ち上げ、一般社団法人組織としてスタートさせます。業界で著名な秋山木工の秋山利輝社長の協力を得て、自社工場での実習などを行いながら人間性豊かな人材育成に取り組み、地域のさらなる雇用創出だけでなく、職人の底上げや若者の輩出につながればと考えています。

また、弊社では社員個々のスキルマップを作り、得意分野を生かせるような体制を組み、優れた多能工による良質な家具を提供しています。購入後も10年間保証サービスをはじめ、熟練の職人がしっかりと修理する。家具に愛着を持ってもらうことで、世代を超えた顧客とのお付き合いを大切にしていきます。

——地元木材のスギ活用にも積極的ですね。

飛騨の伝統工法「曲木」を応用した圧密処理で強度を高めた家具を作っています。圧密技術から派生した薄板II曲がるスギII三二次元加工が可能となり、木材の新しい活用が期待できます。圧密処理の過程で精製される樹液を農業用忌避剤や美容・医療品にも活用できないか研究を進めており、今後の幅広い可能性に期待しています。また、創業100周年を迎える2020年は東京オリンピックの年。ますます国産材の需要が増えることが予想されますので新しい試みを仕掛けていきます。

伝統を守りながら革新を続ける

株式会社メイホーエンジニアリング

代表取締役社長 尾松豪紀氏

——2013年を振り返って、業況はいかがですか。

受注環境は好調です。政権交代もあり、それまでの需要と供給のバランスが逆転しました。弊社では特に、震災復興に絡む官公庁の発注者支援業務という建設コンサルタント業務が伸びています。しかし、受注が好調であることと経営は異なりますので、まだまだ自社の強みを生かしていく必要を感じています。

——今後、力を入れる分野はありますか。

汚染された土壌や水質を浄化する環境修復事業に昨年から取り組み始めました。日本でも数カ所で事業展開していますが、特に環境汚染が深刻な中国での受注を目指しています。北京や上海で開かれた国際見本市では、いくつか具体的な話をいただいています。インフラ整備など

土壌・水質浄化、環境修復事業を強化

の国内市場は、少子高齢化などの影響で必ず小さくなります。われわれが得意とする測量や設計だけでは勝ち残れません。そこで、環境修復事業などにも力を入れ、民間需要の開拓をしていきます。

——2014年の事業展開はいかがですか。

まず、受注環境が好調となり目先の仕事量が増えましたので、それをきっちりと履行していくことが大切になります。それと平行して、環境修復事業も行います。

——必要なことは何でしょうか。

技術者の確保と、人材育成に尽きます。東北での復興需要が増えていることと、関東からの入社希望者が増えていることから、東京の拠点を整備して民需と人材の確保に役立てます。人材育成という面では、人事制度を更新します。社員1人1人に対して期待する役割を明確にして進捗確認し、人事制度に反映させる内容です。また、市場ニーズに柔軟に対応するための教育・訓練も充実させます。われわれは技術者集団ですが、専門技術の追求だけでなく、コミュニケーション能力も高めて顧客満足度を上げていきたいと考えています。人が育つないのに、ビジネスを展開するのは無理です。ビジネスより、人が先なのです。会社が水槽的に発展できるかという基準を持って仕事ができる人材を育てたいです。

会社概要

〒503-0015 大垣市林町2丁目61番地の2
TEL0584-74-7918(代表)
設立 1981年7月25日
資本金 3,000万円
従業員数 204人(2013年12月1日現在)
事業内容 建設コンサルタント、測量業、補償コンサルタント、建設情報者派遣、土壌浄化、水質浄化、海外アウトソーシング
支店・営業所 札幌支店、仙台支店、福島支店、新潟支店、高山支店、金沢支店、高山支店、岐阜支店、名古屋支店、大阪支店、神戸支店、福岡支店、熊本支店、東濃営業所、中濃営業所、各務原営業所、古川営業所、三重営業所、ブノンパン支店

http://www.meihoeng.co.jp

明治安田生命保険相互会社

岐阜支社長 勝 仁志氏

——社名変更から2年目の昨年はどんな年でしたか。

設立50年を数えた昨年を第二の創業と位置づけ、「株式会社 水生活製作所」として再出発してから、昨年は事業領域を大きく見直しました。「水からステキな生活をつくる」をコンセプトに、水栓機器から入浴剤に至るまで、水回りの生活用品全般を扱う幅広い商品開発に取り組んでいます。今後も新たなブランドとして広く周知していただくため、PR活動を展開していきたいと思います。

——昨年はプラスチック製品製造を手掛ける三晶化学工業を子会社化されました。

近年は水栓金具や浄水器等の分野において、プラスチック部品は増加傾向にあります。これまでプラスチック成形は、ほとんどを協力工場に生産委託していましたが、昨年4月に三晶化学工業とのM&Aが合意に至り、プラスチック部品の内製化が実現。コストダウンとリードタイムの短縮で、よりスピーディーな製品開発を可能にする体制が整いました。今後は、これまで得意としてきた鋳物の良さを生かした商品とともに、大きな柱になってくれると期待しています。

より幅広く水から生活をデザイン

——今年は新工場も完成するそうですが。

三晶化学工業の子会社化に続き、プラスチック成形の新工場が2月に竣工予定です。それを機にこの部門をしっかりと確立し、積極的な商品戦略に取り組んでいきたいと考えています。またこの工場は、山県市美山地区における5棟目の工場となり、この地域に新たな雇用を創出します。地元に根付いた企業として、地域に貢献していければと考えております。

——今年の抱負を教えてください。

創業60周年を迎えます。先人に感謝の念を抱きながら、新たに立ち上げた「MIZUSEI」というブランド力に磨きをかけ、「日本一」といえるような新商品をひとつでも多く発信してまいりたいと思います。

会社概要

〒501-2104 岐阜県山県市東深瀬04-2
TEL0581-23-4132
創立 1954年1月
設立 1963年12月
資本金 7,800万円
従業員数 125人
事業内容 ①給水栓類、配管継手類、浄水器類の設計、開発、製造、販売②化粧品の製造、販売③前各号に附帯する一切の業務
事業所 美山工場(山県市佐野)、設会事業部(同)、関東営業所(東京都港区)、関西営業所(大阪市西区)
子会社 上海水生活貿易有限公司(上海市)、美山鋳造(山県市佐野)、三晶化学工業(東京都稲城市)

http://www.mizsei.co.jp

社会医療法人 財西厚生会 松波総合病院

理事長 松波英寿氏

——今年は新館がオープンを迎えます。

ヘリポートを備えた262床の急性期病棟で、3月に竣工、7月から使用を開始します。血管造影検査と手術が同時に行える「ハイブリッド手術室」、最新式の3.0テスラMRI（核磁気共鳴画像法）装置など高性能設備を整え、より高度な医療を効率よく施すことができるようになります。

現状の病室は1室6床ですが、新館・本館とも4床とし、より快適に過ごしていただけます。

——新館開設後の本館の役割は。

新館のオープンに続き、本館も改修に入ります。リハビリや療養に重点を置くことになり、病床数は239床です。さらに介護老人保健施設（老健）146床が同居する複合施設へ生まれ変わります。

近接するまつなみ健康増進クリニックも

学問的分野を究め、医学の追究へ

診療フロアを拡大します。病院と診療所の機能を分化する流れがありますが、患者さんの目線に立ては、1カ所で複数の診療が済むことを望むはずです。総合病院とクリニック、老健を近距離に有する当法人の在り方は患者さんの希望に沿った理想の形であり、今回の新築、改修により、一層充実した体制を整えられると考えております。

——昨年11月に開設したまつなみリサーチパーク（MRP）の事業内容、ねらいは。

臨床研究を推進する施設で、当法人の第4の柱として開設しました。我々医師は知識と技術の礎となる「医学」を学び、患者さんに「医療」を施し、それを生業「医業」としています。病院が高いレベルで成り立っていくにはどれも重要な要素ですが、目の前の医療、医業で手いっぱいになりがちです。しかし、学問的分野を究めることこそ、病院の真の評価につながるのではないでしょうか。MRPではこの医学の追究にまい進しています。

——新年に向かう意気込みは。

景気回復が言われますが、いまだ広く市民の実感にのぼるにはいたりません。医療経済も厳しくはない時代です。現状に甘んじることなく、あらゆる面で高い評価を得られる病院を目指し、新たな一年に臨みます。

概要

〒501-6062 羽島郡笠松町田代185-1
TEL058-388-0111
沿革 1902年／岐阜市加納に松波病院を開設
1933年／笠松町に松波外科医院を開設
1988年／総合病院として現在に至る
従業員数 1,043人
事業内容 理事長／松波 英寿
松波総合病院 病院長／山北 宣由
まつなみ健康増進クリニック クリニック長／村井 敬博
介護老人保健施設 施設長／宮崎 青周
まつなみリサーチパーク 所長／林 愼

http://www.matsunami-hsp.or.jp

明治安田生命

岐阜支社：TEL 058-265-0401

会社概要

本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1
岐阜支社 〒500-8842 岐阜市橋本町金町47番30
TEL058-265-0401
創業 1881年7月9日
総資産 32兆9,812億円(2013年9月末)
事業内容 各種生命保険の引受・保全、資産の運用などの生命保険業および付随業務など
従業員数 37,834人(うち営業職員〈MYライフプランアドバイザー〉29,242人)
保険料等収入 1兆9,173億円(2013年4月～9月)
営業拠点数 支社74、営業部・営業所等968、法人部18
子会社 明治安田損害保険(株)、明治安田保険サービス(株)、明治安田システム・テクノロジー(株) ほか
関連会社

http://www.meijiyasuda.co.jp

株式会社 ヒダ高山

会社概要

〒506-8686 岐阜県高山市赤保根町3180
TEL0577-32-1001
創業 1920年8月
資本金 3億円
従業員数 39万人(男子292人・女子105人)
※2013年12月1日現在
事業内容 家具・インテリア用品の製造販売
自然エネルギーによる発電事業
林業・製材業
事業所 北海道工場・上宝製材工場
ショールーム 飛騨の匠展館 高山・東京・名古屋・大阪・福岡
その他 「ISO9001:2008」「ISO14001:2004」を認証取得

http://kitutuki.co.jp

無断複製・転載を禁じます